

教師の魅力発信動画 - チームの取組・働き方改革編 - 発言概要

ナレーション	<p>京都市立学校では教職員がチームで様々な取組を行える環境が整っています。</p> <p>今回は京都市立北総合支援学校で働き方改革に関する取組を進めている水野雄希先生と、片山梓先生にお話を伺いました。</p>
テロップ	<p>京都市立北総合支援学校 Team 業務改善 水野 雄希 教諭 片山 梓 教諭</p>
ナレーション	<p>まずはどのような取組を進めてこられたのかをご覧ください。</p>
水野	<p>本校では、有志のメンバーで構成されたチーム業務改善が中心となり、目安箱や瓦版を始めとする取組をとおして、学校全体で業務の軽減、効率の良い教育活動の実施を行ってきました。現場の声を、チーム業務改善をとおして学校全体に伝えることで、一つ一つの業務や課題について教職員自身が考えるきっかけになりましたし、実際に業務の改善につながった事例もたくさん生まれました。</p>
テロップ	<p>お二人に話を聞いてみました。 働き方改革で最も大切と思うことは？</p>
水野	<p>私はチームのみんなで取り組むことが一番大切だと思います。</p> <p>担任と言えば一人でやっているようなイメージがあるんですが、特に支援学校では一つの学級に複数の先生が一緒になって授業づくりや子どもたちの教育をやっているので、その中で自分が成長したり、新しい意見が出たりするところが日頃の生活の中で楽しいなと思うところで、チームとして取り組むことが一番大切だし魅力だなと思います。どうですか？</p>
片山	<p>私もチームで取り組む良さは日々実感しています。特に北総合支援学校は、若手からベテランまで様々な経験をされてきた先生が多いので、その方々とチームになって色々な新しい取組に挑戦できるのはとても大きな魅力かなと思います。</p>
テロップ	<p>世間では教師の大変さにフォーカスが当てられることが多いですが・・・・・・・・</p>
水野	<p>確かに大変ですが、それ以上に学校にいる子どもたちのことが大切で、子どもたちのために何かしたいなという思いがあるので、それだけしんどいけど頑張っているという現状があるので。自分の業務改善を始めたきっかけはそれだけ素晴らしい仕事だと思っているし、教師という仕事は頑張れば頑張るほど子どもたちのためになる魅力のある素敵な仕事だと思っているので、</p>

	<p>職業として働きやすくすることは自分たちのためにもなるし子どもたちのためにもなる。</p> <p>まだ一つの学校の取組なので、まず京都市全体で業務改善の流れができればいいなと思っています。取組を始めてよかったなと思うんですけど、まだまだこれからやっていくことは沢山あるなと思います。</p>
片山	<p>私も業務改善の取組をやってよかったなと思います。日々子どもたちと接していて悩むことや不安に思うことも多いのですが、他の先生方と業務の話をする中で自分が学校の運営に少しでも参画しているという気持ちになれて、そこにも一つのやりがいを感じる事ができたので日々子どもたちとの関りとはまた違う点で仕事に対する意識が自分自身変わったかなと思うのでとてもいい経験だったと思います。</p>
テロップ	<p>京都市で教員を目指す方に一言</p>
片山	<p>私は生まれも育ちも京都なので、今度は自分が子どもたちを育てたいという思いがあって京都市で先生になることを選びました。実際になってみると想像以上に悩むことは多いですが、日々子どもたちと接していて、毎日走ったりダンスしたり大笑いしたり、私自身が楽しんで仕事していることを幸せに思っています。一人で仕事をしている感覚は全くなくて色々な先生方に助けてもらいながら、自分自身日々学びながら仕事ができるというところにも教師としての魅力を感じています。</p>
水野	<p>京都市が教育にすごく力を入れているということを学生の頃から実感していて、学校の施設や教材についてもしっかりと子どもたちに必要なものを用意して取り組んでいるところが色々な学校へボランティアに行っ て先生たちの姿を見る中で感じたことで。その環境の中で先生たちが楽しそうに、自分たちの仕事にしっかりと誇りを持って取り組んでいるのを京都市の現場で見たので、ぜひ自分も京都市の教員の一人として働きたいなと思ったので京都市で教諭になることを決めました。子どもたちが好きだったりチームで何かを作り上げるのが好きな人はぜひ一緒に働きたいと思います。</p>
ナレーション	<p>私たちは京都で先生になりたいというあなたをお待ちしています。</p>